



## 一日も早い安心快適な住環境の実現に大きな一歩

災害公営住宅の整備に係る基本協定を締結しました

町は2月23日、熊本工務店ネットワーク(KKN)グループ B+FONS 連合体と、益城町買取型災害公営住宅整備事業(砥川・福原・田原地区)基本協定を締結しました。

同事業は、設計・建設事業者など、県内の民間事業者が災害公営住宅として整備する木造住宅などを町が買い取ることにより、災害公営住宅の整備を迅速かつ円滑に推進することを目的としています。

一般的な公共施設の整備は、設計と施工についてそれぞれ業者を公募し契約しますが、今回は同連合体との協定は、設計と施工を一括化できるだけでなく、従来の契約までの流れを取らずに業者に提案してもらって買い取るという形を取るため、入札での不調・不落の心配がありません。

整備されるのは、砥川・福原・田原地区で、それぞれ10戸が予定されており、周辺環境に合った快適な公営住宅の建設が期待されます。事業は6月から着工し、年内の完成が予定されています。

連合体の代表事業者である有限会社松本工務店代表取締役松本倫明<sup>まつもと のりあき</sup>さんは、「まだ仮設住宅にお住まいで、震災後不自由な生活を送られている皆さまに、安全・安心な住宅を提供できるよう、みんなで力を合わせて頑張っていきたい」と力強く話しました。



協定を締結した連合体のメンバーと町関係者



協定書を掲げる西村町長と松本代表



1日2便運行し、買い物や通院に利用されています

## “おでかけ”が健康のみなもと

津森仮設団地で移動支援サービスの中間報告

津森仮設団地のみんなの家で、仮設団地を対象とした「おでかけ支援サービス」の実施状況について、NPO法人イーモビネットによる中間報告が行われました。

おでかけ支援サービスは、買い物や通院など単なる「輸送の提供」だけでなく、移動の需要を作り出すことにより、コミュニケーションを活発化させ、生活者が健全な心身を維持できるよう支援しています。同団体では今後も事業を継続して実施していくため、ドライバーを募集しています。(詳しくは37ページ)

Best Smile

今月のベスト笑顔

